

MO教授が選ぶ

現代の政治経済社会を考えるためにお薦めの映画

(資料:ウィキペディア、goo 映画他)

欧米の映画

アメリカ編(MOの大学入学 1976 年以降)

タクシードライバー(1976)マーティン・スコセッシ監督。大都会ニューヨークを舞台に夜の街をただ当てもなく走り続ける、ベトナム帰りの元海兵隊のタクシー運転手が、腐敗しきった現代社会に対する怒りや虚しさ、逃れられない孤独感から徐々に精神を病み、ついには自分の存在を世間に知らしめるため過激な行動に走る。

大統領の陰謀(1976)アラン・J. パクラ監督。野党民主党本部のあったウォーター・ゲイト・ビルへのニクソン大統領一派による盗聴事件を調査したワシントン・ポスト紙の 2 人の記者の手記に基づくドラマ。ダスティン・ホフマンとロバート・レッドフォードが共演。

ジュリア(1977)フレッド・ジンネマン監督。アメリカの女流作家リアン・ヘルマンの原作。彼女と反ナチの女性レジスタンス活動家ジュリアとの友情、ハードボイルド作家で赤狩りと戦うダシール・ハメットとの愛が描かれている。

ディアハンター(1978)マイケル・チミノ監督。1960 年代末期、ベトナム戦争での過酷な体験が原因で心身共に深く傷を負った、3 人の若きベトナム帰還兵の生と死、そして友情を描いている。

チャイナ・シンドローム(1979)ジェームズ・ブリッジ監督。アメリカの原子力発電所がメルトダウンを起こしたとしたら、地球を突き抜けて中国まで溶けていってしまうのではないか、というジョークに由来。この映画が公開されたのは 1979 年 3 月 16 日であるが、それからわずか 12 日後の 1979 年 3 月 28 日に、ペンシルベニア州のスリーマイル島原子力発電所で本当の原子力事故であるスリーマイル島原子力発電所で事故が起きた。

レッズ(1981) ウォーレン・ベイティ監督 1917 年に起きたロシア革命とその革命を記録したアメリカ人ジャーナリスト、ジョン・リードの半生を描いている。

ソフィーの選択(1982) アラン・パクラ監督。ウィリアム・スタイロン原作の小説(1979年)。また、それを原作にした映画。ナチスによるホロコーストと生き残りの女性を題材に取った作品。大女優メルストリープの出世作。

シルクウッド(1983) マイク・ニコルズ監督。プルトニウム工業で汚染し、謎の交通事故死を遂げたカレン・シルクウッド事件に材を取った社会派映画。メルストリープ主演。

ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ(1984) セルジオ・レオーネ監督。禁酒法時代にニューヨークのユダヤ人ゲッターで育った二人のギャングの生涯を描いた、レオーネの遺作にして代表作。ロバート・デニーロ主演。

フルメタル・ジャケット(1987)。監督はスタンリー・キューブリック。ベトナム戦争を題材にした戦争映画である。監督はスタンリー・キューブリックであり、『突撃』(1957年)同様、明確な反戦を基調とした映画。

ドゥ・ザ・ライト・シング(1989)スパイク・リー監督。ブルックリンを舞台に人種差別(黒人と韓国人など)を扱っている。後のロス暴動のきっかけのひとつだとも言われている。

ダンス・ウィズ・ウルブス(1990) ケビン・コスナー監督。1861年から繰り広げられた南北戦争時代のフロンティアを舞台に北軍の中尉と、スー族と呼ばれるインディアンとの間で交わされる心の交流を描いた西部劇である。

JFK(1991) オリバー・ストーン監督。ケネディ大統領暗殺事件の捜査に執念を燃やす地方検事ジム・ギャリソンを中心に描いた“現代史ミステリー”。大統領暗殺における唯一の訴訟であるクレイ・ショー裁判をモデルとして描いている。

マルコム X(1992)スパイク・リー監督。マルコム X が亡くなる2年前から緊密に連絡取り合った上で執筆されたアレックス・ヘイリーとマルコム X 共著のマルコム X の自伝をベースにしている。デンゼル・ワシントン主演。

ペリカン文書(1993)アラン・パクラ監督。ジョン・グリシャムの同名原作小説をもとに製作された自然保護まつわるリーガルサスペンス。ジュリア・ロバーツの出世作。

シビル・アクション(1999) スティーヴン・ザイリアン監督。汚染事故の裁判を通じて正義の心を取り戻していく金満弁護士姿を描く法廷ドラマ。ジョン・トラボルタ主演。

エリン・プロコビッチ(2000) スティブン・ソダーバーグ監督。アメリカ西海岸を拠点とする大手企業 PG&E から、公害損害賠償裁判で、史上最高額の和解金を勝ち取った子持ちシングル、エリン・プロコビッチの半生を描く。ジュリア・ロバーツ主演。

ボーリング・フォー・コロンバイン(2002) マイケル・ムーア監督。1999年4月20日に発生したコロンバイン高校銃乱射事件に題材を取ったノンフィクション・ドキュメンタリー作品。

華氏911(2004) マイケル・ムーア監督。アメリカ同時多発テロ事件へのジョージ・W・ブッシュ政権の対応を批判する内容を含むドキュメンタリー映画。

エンロン(2005) アレックス・ギブニー監督。アメリカ史上最大の企業スキャンダル、エンロン事件を追ったドキュメンタリー。全米第7位、世界第16位に急成長した巨大企業がわずか2か月で破綻するまでの経緯を、元社員の証言や内幕を暴く内部資料によって浮き彫りにする。

父親たちの星条旗(2006) クリント・イーストウッド監督。太平洋戦争最大の戦闘とされる硫黄島の戦いを日米双方の視点から描いた「硫黄島プロジェクト」のアメリカ側視点の作品である。硫黄島での死闘と戦場(摺鉢山の山頂)に星条旗を打ち立てる有名な写真の被写体となった兵士たちのその後などが描かれる。

硫黄島からの手紙(2006) クリント・イーストウッド監督。『父親たちの星条旗』に続く、硫黄島の戦いを日米双方の視点から描いた「硫黄島プロジェクト」の日本側視点の作品である。劇中の栗林忠道中将の手紙は、彼の手紙を後にまとめた『「玉砕総指揮官」の絵手紙』(栗林忠道・著 吉田津由子・編)に基づいている。渡辺謙主演。

シッコ(2007) マイケル・ムーア監督。アメリカ合衆国の医療制度をテーマとしたドキュメンタリー調、かつコメディ調のアメリカ映画。

チェ 28歳の革命 (2008) スティブン・ソダーバーグ監督。革命家チェ・ゲバラが、フィデル・カストロと共にキューバ革命を成功に導くまでを描いている。

チェ 39歳 別れの手紙 (2008) スティブン・ソダーバーグ監督。革命家チェ・ゲバラがキューバ革命後、再び革命に走り、ボリビアでの革命を先導しながらも敗北し、処刑されるまでを描いている。

グラン・トリノ(2008) 引退したフォード社の元自動車工が、自動車産業とともに衰退するアメリカ的精神の継承者を移民たちの中に求めざるを得ない、死を前にした孤独と矜持のドラマ。

ヨーロッパ編

(イギリス帝国)

炎のランナー(1981)ヒュー・ハドソン監督。走ることによって栄光を勝ち取り真のイギリス人になろうとするユダヤ人のハロルド・エイブラハムスと、神のために走るスコットランド人宣教師エリック・リデル、実在の二人のランナーを描いた映画。

大地と自由(1995) ケン・ローチ監督。現代のイギリス。デヴィッド・カーは孫娘に見取られながら、息を引き取る。残された孫娘は祖父の遺品を整理するうち、祖父がスペイン内戦に義勇兵として参加していたことを知る。

フルモンティー (1997)ピーター・カッタネオ監督。今は衰退してしまったが、かつては鉄鋼業で大いに栄えたイングランドのシェフィールドを舞台に、鉄工所を解雇され失業中の金欠中年男6人が一攫千金のために男性ストリップ・ショーに出演するまでの様子を描く。

グラス(1997) マーク・ハーマン監督。1917年に炭坑夫の余暇活動として結成されたバンド、グライムソープ・コリアリー・バンドの実話をヒントに映画化。崩壊してゆくコミュニティを舞台に、音楽と共に生きる歓びと、友情に支えられた人生の素晴らしさを感動的に描く。

麦の穂を揺らす風(2006) ケン・ローチ監督。1920年のアイルランド南部の町・コーク。医者を目指す青年デミアンはロンドンでの勤務がきまり、アイルランドを離れようとしていた。そんな時、仲間がイギリスから送り込まれていた武装警察ブラック・アンド・タンズの暴行を受け、命を落としてしまう。事件をきっかけに医師になる志を捨てたデミアンは、やがてアイルランド独立を目指す戦いに、仲間とともに身を投じていく。

リトル・ダンサー(2000) スティブン・ダルドリー監督。1984年のイギリス北部の炭鉱町を舞台に一人の少年が、当時女性のためのものとされていたバレエに夢中になり性差を超えてプロのバレエ・ダンサーを目指す過程を描いた。

ミス・ポター (2007) クリス・ヌーナン監督ピーター・ラビットの作者として知られるビアトリクス・ポターの人生を描く。上流階級の女性が職業を持てなかった時代に、絵本作家としての道を自ら切り開いた進歩的なポターだが、晩年、湖水地方の保護活動に携わるまでは、孤独な人生であったと伝える伝記が多い。

(ドイツ)

アギーレ神の怒り(1972) ヴェルナー・ヘルツォーク 1560年、スペインからの探検隊がキトからアンデスの山に向かっていて、ゴンサロ・ピサロの指揮のもと、彼らは伝説の都市エル・ドラドを発見しようとしていた。

マリア・ブラウンの結婚(1979) ライナー・ヴェルナー・ファスピンダー監督。第二次世界大戦後期、混乱するベルリンでマリアとヘルマンは略式の結婚式を上げた。しかし半日と一夜を共に過ごした後、ヘルマンは戦場へと向かってしまう。戦争が終わり、マリアは友人のベティと共にそれぞれの夫を探しに行く。ベティの夫ウィリーは無事に戻ってくるが、しかしヘルマンは戦死したと告げられる。

ブリキの太鼓(1979) フォルカー・シュレンドルフ監督。第1次大戦と2次大戦の間のダンツィヒの町を舞台に3歳で大人になることを拒否し自らの成長をとめた少年オスカルと彼の目を通して見た大人の世界を描く。

秋のドイツ(1984) ファスピンダー、シュレンドルフ他監督。77年10月後半に西独で起きた一連のテロ事件に呼応する形で、いわゆる“ニュー・ジャーマン・シネマ”の作家たちがそれぞれの政治的主張を持ち寄ったオムニバス映画。

ローザ・ルクセンブルグ(1985) マーガレテ・フォン・トロッタ監督。19世紀末から第一次世界大戦に渡るまでの動乱のベルリンを生き抜いた女性革命家ローザ・ルクセンブルグの半生を綴った伝記作品。彼女が1919年に右翼によって惨殺されるまでの物語

ベルリン天使の詩(1987) ヴィム・ヴェンダース監督。守護天使ダミエル(ブルーノ・ガンツ)は、長い歴史を天使として見届け、人間のあらゆるドラマを寄り添うように見守った。だが親友カシエル(オットー・サンダー)に永遠の生命を放棄し、人間になりたい、と打ち明ける。やがてサーカスの舞姫マリオン(ソルヴェーグ・ドマルタン)に想いを寄せるダミエルはついに「壁」を境に東西に隔てられた街・「ベルリン」に降り立った…。

バーダー・マインホフー理想の果てに—(2008) ウリ・エデル監督。ドイツ赤軍がベトナム反戦運動と反米デモの中から立ち現われ、ヨーロッパを震撼させ、やがて自己崩壊に至る過程をリアルに描く作品。

(フランス)

シモーヌ・ド・ボーヴォワール 自身を語る(1978) マルカ・リボヴスカ監督他。フランスの代表的な女流作家であり、フェミニズムの先駆者でもあるシモーヌ・ド・ボーヴォワールが自らを語るドキュメンタリー映画。

ラルジャン(1983) ロベール・ブレッソン監督。一枚のニセ札から運命を狂わされた一人の若者の姿を描く。

サブウェイ(1984) リュック・ベッソン監督。パリの地下鉄構内に棲息する若者たちの風変りな生活を背景に犯罪に巻き込まれる一人の若者を描く。

ヤマカシ(2001) アリエル・ゼトウン監督。PUMA のウェアとシューズを身にまとう 7 人の若者集団 YAMAKASI。リーダー格のブル (シャルル・ペリエール) を筆頭に高層ビルを軽々のぼる彼らは、警察の目の敵であり、子供たちの憧れだった。

(イタリア)

家族の肖像(1974) ルキノ・ヴィスコンティ監督。ローマの豪邸で静穏そのものの生活を送る孤独な教授が、ある家族の一群に侵入され、そのことによっておきる波紋をヨーロッパ文明と現代貴族のデカダンスを根底に描く。

1900年(1976) ベルナルド・ベルトリッチ監督。1900 年生まれの、異なる階層出身の幼馴染の 2 人の男性の生き様を中心に、20 世紀初頭から第一次世界大戦、ファシズムの台頭から第二次世界大戦の終了までのイタリア現代史を描く。

(スペイン)

ミツバチのささやき(1973) ビクトル・エリセ監督。スペイン内戦がフランコの勝利に終結した直後、1940 年の中部カスティーリャ高地の小さな村を舞台に 6 歳の少女アナと彼女の家族たちの日常を描く。

エルスール(1983) ビクトル・エリセ監督。父を自殺で失った少女が父との思い出を回想し、やがて旅立つまでを描く。自殺で失った少女が父との思い出を回想し、やがて旅立つまでを描く。

ロルカ・暗殺の丘(1997) マルコス・チューリナ監督。スペインの天才詩人／劇作家フェデリコ・ガルシア・ロルカの暗殺をめぐるミステリー。

オール・アバウト・マイ・マザー(1999) ペドロ・アルモドバル監督。17年前に別れた夫に関して息子から問われた母マヌエラ。長い間隠していた夫の秘密を話そうと覚悟を決めた矢先、彼女は息子を事故で失ってしまう。息子が残した父への想いを伝えるため、マヌエラはかつて青春を過ごしたバルセロナへと旅立つ。

(その他)

密告の砦(1965) ハンガリー映画。ミクローシュ・ヤンチャー監督。1869年。オーストリアとハンガリーの二重帝国治下に入ってから3年目のハンガリーの荒野の砦に、農民と義賊の群れが狩りこまれた。誰が義賊なのかは、ハンガリー将校達には分らない。砦には、すでに以前より独房に放りこまれている義賊もいた。義賊達は〈絶望団〉の残党で、1848年のオーストリアとの独立戦争で独立派のコッシュートのもとに集まり、敗戦以来ゲリラ活動が続けていた。その首領のシャーンドルは農民達にとっては英雄だった。

このとり・たちずさんで(1991)ギリシャ他共同映画。テオ・アンゲロプロス監督。テレビレポーターのアレクサンドロスは、ヴェトナム難民たちがギリシャ船に救われながら政府に入国を拒否されたために冬の海に身を投げたという事件が忘れられず、クルーとともに3国と接する北ギリシャの国境地帯に取材にやって来た。案内してくれた大佐(イリアス・ロゴテティス)は国境線の前に、飛び立つ寸前のこのとりのように片足で立ちながら、呟く。「一歩含み出せば異国か、死か、それが国境だ」。

惑星ソラリス(1972)ソ連映画。アンドレ・タルコフスキー監督。広い宇宙にはさまざまな生命形態がある。惑星ソラリスも星自体が一つの生命体であり、この異質の生命体と初めて接触した一人類を描く、ファースト・コンタクト・テーマのSF作品。

蜘蛛女のキス(1985)ブラジル・アメリカ映画。ヘクトール・バベンコ監督。舞台は、ブエノスアイレスの刑務所の獄房の一室。未成年に対する性犯罪で投獄されているゲイ＝モリーナと、社会改革を目指す若き活動家＝ヴァレンティンが徐々に心を通わせていく物語。

鉄の男(1981) ポーランド映画。アンジェイ・ワイダ監督。50年代に労働英雄として祭りあげられた男の後半生を追う映画大学の女子学生の行動を描いた「大理石の男」(77)の続篇で、ポーランドの自主管理労組“連帯”の社会的・政治的位置についての考察を含んだ社会派映画。

ダントン(1982) ポーランド・フランス映画。アンジェイ・ワイダ監督。フランス革命の中心的人物、ダントンとロベス・ピエールそれぞれの〈革命〉における信念と葛藤を描く。

未来都市ブラジル

サンチャゴに雨が降る

アジア編

路(1982)トルコ・スイス映画。ユルマズ・ギュネイ監督。トルコのある島から、5人の男たちが仮出所を許されて故郷へ向かった。だが彼らの故郷には、それぞれの悲劇が待ち受けていた……。現代のトルコが抱える諸問題を描いた社会派ドラマ。

遠い道(1981) インド映画。サタジェット・レイ監督。バラモン（僧侶）たちに迫害される農夫の姿を通し、インドに根強く残るカースト制度の矛盾に一石を投じた作品。

非情城市(1989) 台湾映画。侯孝賢監督。'45年から'49年までの台湾の激動の4年間を背景に、ある一家のたどる変遷を描くドラマ

黄色い大地(1984) 中国映画。陳凱歌監督。中国中央部、陝西省を舞台に、八路軍の兵士と貧農の娘の淡い恋と農民たちの苛酷な生活ぶりを描く中国映画。

赤いコウリヤン(1987) 中国映画。張藝謀監督。20年代末の中国山東省を舞台に、貧しく厳しい状況の中で生きる人々の、恋と欲望と闘いを描く。

日本映画(参考)

人間の条件

戦争と人間

水俣病—その20年

日本解放戦線 三里塚

青春の蹉跎

さらば愛しき大地

遠雷

生きているうちが花なのよ死んだらそれまでよ党宣言

未見

バーニング・シーズン(1994)アメリカ映画。ジョン・フィランケンハイマー監督。利権を貪る政治家との対立の中、熱帯雨林の伐採問題をめぐり国に対し果敢に戦った実在の革命家チコ・メンデスの姿を描く。